

十和田市ブログ「駒の里から」<http://citytowada.exblog.jp/>
広報とわだに掲載できなかった記事も紹介していますのでご覧ください。



音楽や芸術で復興を支援

Hearts Towadaチャリティーアクト

5月1日、現代美術館でHearts Towada（ハーツ・トワダ）チャリティーアクトが開催されました。このイベントは、アーティストと市民有志による復興支援プロジェクトHearts Towada実行委員会（照井佐和子代表）により開催されたものです。

オープニングでは十和田市少年少女合唱団が「故郷」などを斉唱。その後、十和田市出身の写真家岩木登さんが自身の被災地での支援活動を基にスライドショートトークを行いました。岩木さんは「震災直後の被災地の光景を見て、一緒に行った仲間と絶句しました。青森も一緒に東北を作り直して行くという気持ちが大切だと思います」と、話していました。

ほかに、イラストレーター安齊将さんによるシェイカー打楽器の作成や母の日に向けてのフラワーアレンジメントのワークショップ、八戸市のイタリア料理店「オステリア・デル・ボルゴ」によるチャリティーメニューの販売などが行われました。

また、桜田まことさんや板橋かずゆきさん、Gumspring（ガムスプリング）などによるライブが行われ、盛り上がりを見せていました。



オープニングを飾った十和田市少年少女合唱団



フラワーアレンジメント上手にできました



ライブで演奏を披露した八甲田吹奏楽団

十和田市で初！資格取得のための講座が開講します ジュニア野菜ソムリエ説明会

5月9日、東公民館でジュニア野菜ソムリエの説明会が行われ、市民27名が参加しました。

この説明会は、十和田市で初のジュニア野菜ソムリエ資格取得のための講座が6月に開講されることに伴い、日本野菜ソムリエ協会が行ったものです。説明会では、野菜ソムリエの活動や講座についての説明のほか、市内で活動するジュニア野菜ソムリエの中村陵子さんが自身の活動を紹介しました。参加者は、資格取得に向けて意欲を見せていました。



「生産者が熱い想いで育てた野菜を皆さんにおいしく食べてもらうために活動しています」と話す中村さん

十和田市産米粉の消費拡大を目指して 学校給食で米粉を使ったメニューを提供

5月16日、北園小学校（河島靖岳^{やすたけ}校長）でバイキング給食が行われ、十和田市産米粉を使用した焼きうどんやパン、ケーキなどが提供されました。

この米粉メニューの提供は、地元農産物の消費拡大を図る取り組みの一環として行われたものです。

生徒たちは、焼きうどんやパンを食べながら「やわらかくて食べやすい」「うどんの食感もっちりしている」など友達と感想を話しながらおいしそうに食べていました。



普段とは違うバイキング形式の給食。好きなメニューを選べるのも魅力。